

令和6年度 東久留米 西地区 けやき教室だより

けやき

この先を見通して

春寒の候、どんな冬休みをお過ごしになりましたか。3年生は勉強を追い込んでやっていたことと思います。また、気分転換にリフレッシュをしたり、家でゆっくりと過ごしたりした方もいることでしょう。

さて、中学校を卒業の後は、高校に進学する人が多いと思います。卒業した後も役立つようスキルとして身に付けておくの良いものを紹介します。中学校から意識をして過ごせると良いですね。

人との距離感を考えよう



パーソナルスペースという言葉を知っていますか？これは、他人に近づかれると不快に感じる空間を指します。別名、パーソナルエリア、個体距離、対人距離とも呼ばれています。

親密な相手ほどパーソナルスペースは狭くなりますが、学校や社会では、相手に触れることのできない距離で、コミュニケーションをとることが望ましいとされています。

親しいからといっておやみに相手に触れていませんか。嫌な思いをさせることを減らしたり、今よりもっと円滑に人付き合いができたりするには距離感を考えて、人と接することを心がけることが必要です。

<高校の特別支援教室について>

都立高校には特別支援教室が設置されている学校があります。私立高校には特別支援教室はありませんが、私立ならではの特色やサポート体制があったりします。

都立高校に進学して、特別支援教室の利用をお考えの方は、高校に直接取り合わせると、状況を知ることができます。志望する学校に特別支援教室がない場合は、申請することで設置が可能となることが多いです。

支援が必要な時に、問合せをしてみてください。

相手のパーソナルスペースに近づくときの方法として、良いものには○、良くないものには×を入れてみましょう。

- 1 相手に急に近づくのはよい。()
- 2 近づくときに、「ねえ」「すみません」などと声をかける。()
- 3 近づいたときに、相手の腕や肩をいきなり触ったり、つかんだりしてもよい。()
- 4 近づく前に、相手が忙しいかどうかなど、様子を見たり、相手の表情を確かめたりする。()
- 5 近づいたときに、声をかけながら相手のうでや肩をそっとさわったり、たたいたりする。()

*クラスの人と答え合わせをしてみてください。

けやき教室では、個々の生徒に応じた様々な課題に取り組んでいます。右の写真(①)は、言葉だけでお題の図の説明を行い、同じ図を完成する活動です。右の写真(②)は身振りや言葉でアイマスクをしている人に伝言する活動です。どちらもコミュニケーションをとる上で必要なスキルです。普段から相手のことを考えて伝えることが大切です。



①



②

このたよりは西地区4校の全生徒に配布しています。